



1学期が終わりました

7月24日（月）で1学期が終わりました。振り返ってみますと、新型コロナウイルス感染症の位置付けが2類から5類に変わること、どんなことが起こるか不安をもって始まった1学期でした。途中、胃腸炎が流行した時期はありましたが、入学式、運動会、リッチモンド小学校との交流、宿泊学習、各学年のふるさと学習等、予定どおり実施することができました。

終業式では、子供たちに2つの願いをしました。1つ目は「夏休みを1日1日大切に過ごしてほしい」ということです。毎年思うのですが、夏休みは長いようで、終わってみれば、あっという間のものです。今年は、コロナ明けでこれまで以上にいろんなことができるようになっています。ご家庭や地域でも楽しいことを考えておられるかもしれません。ぜひ思い出に残る夏休みにしてほしいと思います。これは子供たちには言わなかったのですが、先日、大雨による赤池市議の訃報がありました。本当にいつ何時何があるかは分からないと改めて思いました。「いつかしよう」ではなく「思いついた時にする」ことが大事です。2つ目は「2学期初めに元気に登校してほしい」ということです。夏休みは、自分の好きなことができる反面、生活リズムが乱れがちになる時期でもあります。夏休み後半には、2学期の目標を考えたり早寝早起きをしたりして、2学期に備えてください。始業式には、みんなで体育館に集まって、元気に挨拶をしたいと思います。



勤労奉仕の心

今年は、大雨と暑さのためか、グラウンドの雑草が大変元気です。日頃から、6年生の子供たちが朝活動で草むしりをしてきています。学期末の清掃強調週間でも、各学年各学級が時間をつくって草むしりをしました。バケツいっぱいに入った草が何度も何度も草捨て場に運ばれていくのを見るのですが、それ以上に、雑草の生長が早く、むしってもむしっても生えてきます。『雑草魂』という言葉がありますが、本当にたくましいです。（朝ドラの『らんまん』で神木隆之介演じる主人公が言っ



ているように「雑草も必死に生きている」のかもしれませんが)

さて、そんな中、6年生の「私たちと一緒にグラウンドの草をむしりませんか」の呼びかけに、草をむしってくれる下級生が少しずつ増えています。(横目に、ドッジボールやサッカーに夢中の子供もいますが、それはそれで元気でよろしいです) 大変うれしいことです。「こんなにむしったのに、まだいっぱい草がある」と子供たちは言いますが、グラウンドのいたる箇所に緑色がなくなり茶色くなっている部分がちゃんと見受けられます。「ありがとう、ごくろうさま」という言葉が自然に出てきます。これから夏休みに入り、さらに雑草は生長します。2学期を迎える前には除草剤の力に頼らざるを得ないことになってしまうのですが、子供たちの心意気には感謝したいです。「自分たちのグラウンドを自分たちできれいにしたい」「頑張っている6年生のように自分たちも頑張りたい」という気持ちは学校をよくしていきます。太陽の光に当たることで、知らず知らずのうちに風邪に負けない丈夫な体ができているとも考えられます。「子供たちも頑張りましたが、雑草はそれ以上に頑張っているのかもしれませんが」そんなことを思う学期末でした。

さよならトマス先生

昨年度から福野小学校のALTとして勤務してくださったトマス先生でしたが、7月21日(金)をもちまして最後の勤務日となりました。給食時の校内放送では、福野小学校で楽しく過ごせたことに対する感謝の気持ちとともに、子供たちに2つのお願いを話されました。1つは、「世界は広い、いろんな経験をしてください」ということ。もう1つは「Be nice.」ということ。これは、「人に優しくしてください。いい人になってください」という意味らしいです。途中、涙で言葉を詰まらせる場面が何度もありました。私も写真と撮るために放送室にいたのですが、もらい泣きしそうになったので退室しました。これほどまでに福野小学校のことを愛してくれていたことに感動しました。きっと教室で聞いていた子供たちにもトマス先生の気持ちが伝わったことと思います。



私が初めてトマス先生と会ったのは城端小学校で勤務していた令和3年9月でした。その時から日本語は上手でした。石川県に勤めていたことがあると言っていました。それは短い期間で、それ以上にアメリカで日本語の勉強をしていたことが力になっているようでした。本当に努力家で、前向きな人でした。「ALTとして私にできることはないか?もっと私を使ってほしい」とよく言っていました。これからは以前からの夢であったIT会社で勤務することになり東京へ行かれます。持ち前の明るい性格で、自分の将来を切り拓いて行ってほしいと願います。

(校長 曲 師 政 隆)

有意義な夏休みを過ごしましょう!